
TEachOtherS 活用マニュアル

単一文章への コメント活動

一つの文章に各自でコメントして，全員でふりかえり

学生用

目次

第1章 準備編	1
1.1 使用機器とソフトウェア	2
1.2 アカウント情報の受け取りとログイン	3
第2章 実践活動編	7
2.1 「単一文章へのコメント活動」について	8
2.2 文章へコメントをつける	9
2.3 グループで振り返る	14
2.4 クラス全体で振り返る	19
第3章 こんなときは	21
3.1 セッション有効期限切れのエラーがでます	22
3.2 ログインしても文章が表示されません	23
3.3 活動データをダウンロードするには？	24
3.4 ダウンロードした活動データの表示がおかしい	26

第1章

準備編

活動に入る前に必要な準備として、アカウントへのログイン方法について説明します。

1.1 使用機器とソフトウェア

□ インターネットにつながる機器

PC, タブレット, スマートフォンなど, インターネットにつながる機器を用意しましょう。次のような OS を搭載した機器であれば, 問題なく使えます。

- Windows (10 以降)
- macOS
- Android (8 以降)
- iOS, iPadOS
- Linux (Ubuntu 22.04)



画面のサイズが小さいと, 使いにくかったり, 表示がうまくできなかったりすることがあります。

□ Web ブラウザ

TEachOtherS のおすすめ Web ブラウザは, 次のとおりです。できるだけ一番新しいバージョンを使ってください。

- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari
- Firefox

- Line や WeChat アプリなど内蔵されているブラウザや, スマートフォンのメーカーが独自に作ったブラウザを使っている場合は, 上に書かれたおすすめのブラウザのどれかをインストールしてください。特に, 留学生が自分の国で買ったスマートフォンを使っているときは注意が必要です。
- iOS, iPadOS では, OS と Safari のアップデートが一緒に行われるため, OS を最新の状態にしてください。
- サポートが終わった古い OS (例: Windows 7 や Android 6) を使っている場合は, 最新のブラウザがインストールされているかを確認してください。

1.2 アカウント情報の受け取りとログイン

□ アカウント情報の受け取り

TEachOtherS には、アカウントの受取方法が二つあります。それぞれ紹介します。

■ 方法①：ログイン用 URL を受け取る

TEachOtherS にログインするためのアカウント情報として、次の3点を先生から受け取ってください。これらは、あなた専用の情報なので、適切に管理し、忘れないようにしてください。

- ログイン用 URL
- ID
- オプション（ない場合もあります）

Web ブラウザで、受け取ったログイン用 URL にアクセスしてください。下図のようにログイン画面が表示されたら、ID とオプションを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。オプションがない場合は、空欄でかまいません。

TEachOtherS



ID
太郎

(オプション)

ログイン


- Line や WeChat のブラウザでは、TEachOtherS が正常に動作しないことがあります。必ず、Web ブラウザから TEachOtherS にアクセスしてください。
- アカウント情報は、何回か使う可能性があります。ログイン用の URL は、Web ブラウザでブックマークしておくといでしょう。

■ 方法②：アカウント配布用 URL を受け取る

方法②は、まずアカウント配布用 URL を使って個人用 URL を取得します。次に、方法①のように、個人用 URL でアカウントにログインします。

- (1) 先生から受け取ったアカウント配布用 URL に Web ブラウザでアクセスしてください。
- (2) ログイン画面（下図左）が表示されたら、ID を入力してください。ID は先生から伝達されます。学籍番号などみなさんがいつも使っている ID がよく使われます。
- (3) ログインボタンを押すと、ログイン用の個人用 URL が表示されます（下図右）。この URL は忘れないよう、Web ブラウザのブックマークなどに記録しておいてください。
- (4) 個人用 URL に Web ブラウザでアクセスし、先ほどの入力した ID でログインしてください。

TEachOtherS



ID
太郎

(オプション)

ログイン



ログイン用URL

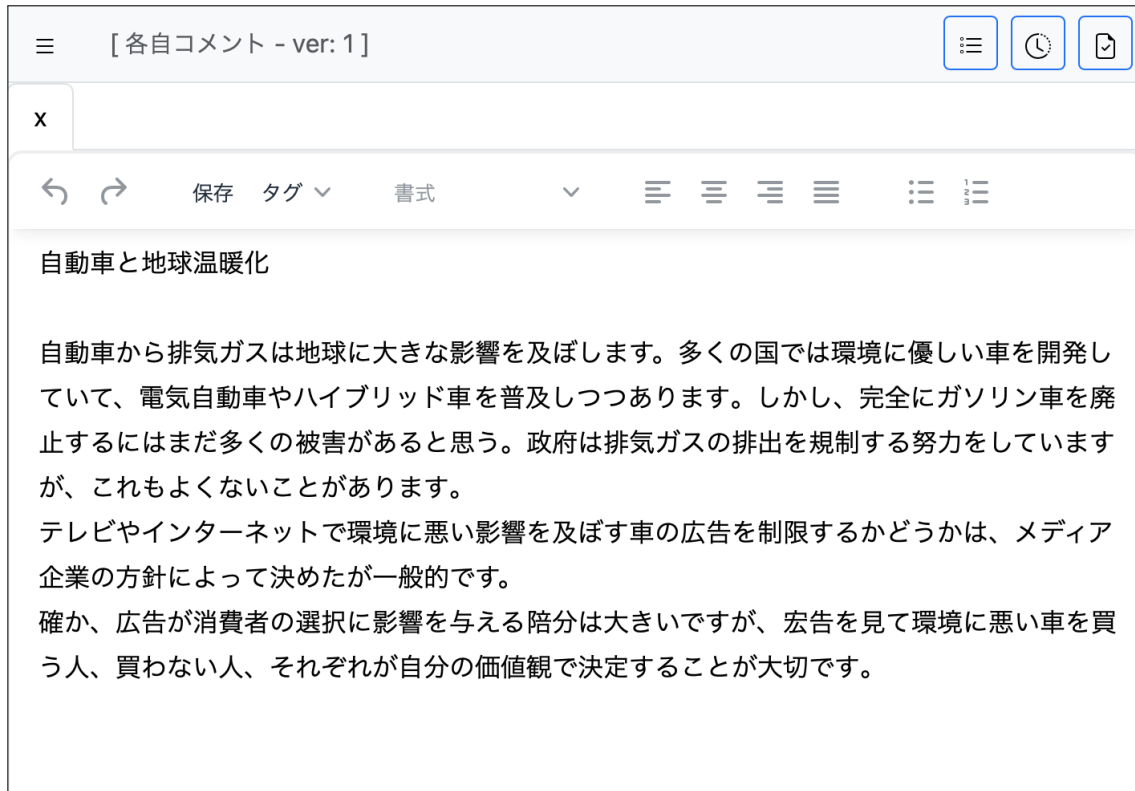
次回からは、次のURLからログインしてください。このURLはあなた専用ですので、記録しておいてください。ログイン時のユーザ名と（オプション）の情報は今回と同じです。

<https://502-251-23002.vl.nsk.kyushu-u.ac.jp/TEachOtherS/index.html>

OK

□ ログインの確認

ログインに成功すると、下図のような文章編集のためのエディタが表示されます。



- 画面の左上に「文章作成」と表示されているのを確認してください。
- 何も表示されなかったり、エラーが表示されるなどした場合は、1.1 節「使用機器とソフトウェア」を確認した後、先生に連絡してください。

第2章

実践活動編

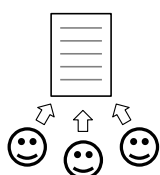
実践では、文章にコメントをつけ、グループでの振り返り、クラス全員での振り返りに参加します。それぞれについて説明します。

2.1 「単一文章へのコメント活動」について

□ 「単一文章へのコメント活動」とは

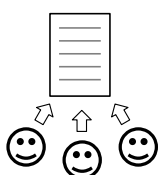
単一文章へのコメント活動とは、グループで共有した一つの文章に対して、メンバーが各自コメントし、その結果をみんなで見つち、振り返りをする活動です。このような活動の例として、グループでの課題文の読解、文字や文法などの間違い探し、論文の輪読など、さまざまな活動が考えられます。

■ 間違い探し課題(日本語教育)



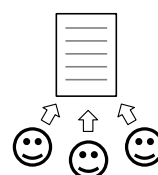
- ① 各自、課題文の間違い箇所コメント
- ② 全員の結果を統合して振り返り

■ 読解演習(日本語教育)



- ① 各自、課題論文にコメント
- ② 全員の結果を統合してディスカッション

■ 論文輪読(アカデミックライティング)



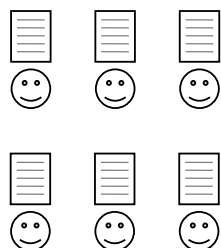
- ① 各自、課題論文にコメント
- ② 全員の結果を統合してディスカッション

□ 「単一文章へのコメント活動」の流れ

「単一文章へのコメント活動」の一般的な流れは、次のとおりです。このあとの節では、この順序で説明していきます。

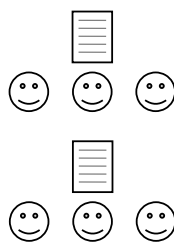
- (1) 活動のすべての参加者が、それぞれの意見やコメントを決めた文章に書きます。このとき、他の人のコメントは見えません。
- (2) その後、いくつかのグループに分かれて、話し合いをすることもあります。グループのなかで各メンバーのコメントが見られます。
- (3) 最後に、クラスのすべての学生でそれぞれのコメントを一緒に見て話し合いをします。

(1) 各自でコメント



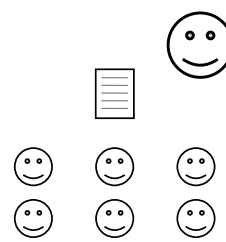
同じ文章に対してコメント

(2) グループで話し合い



グループのなかで話し合う

(3) クラス全体で話し合い

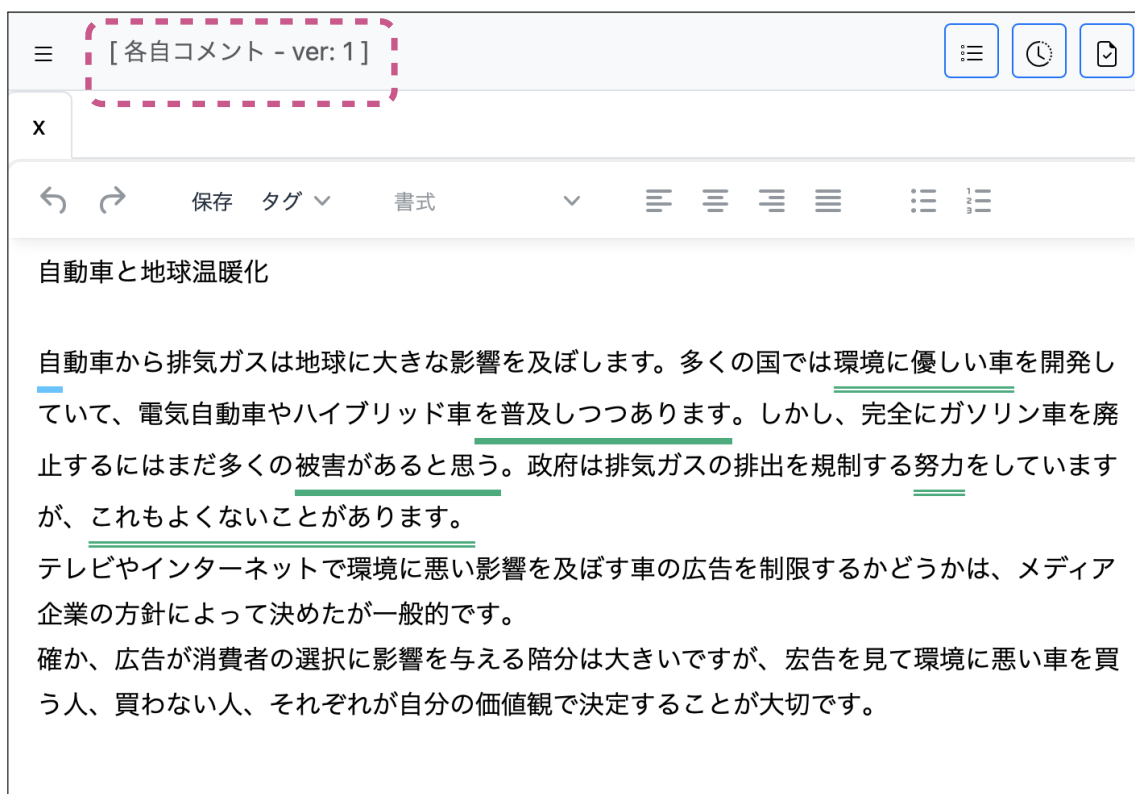


クラスのすべての学生で話し合う

2.2 文章へコメントをつける

□ フェーズの確認

文章へコメントをつける準備として、TEachOtherS が「各自コメント」フェーズの状態か、確認してください。次のように、TEachOtherS のフェーズステータスが「各自コメント」になっていれば、OK です。



- 「各自コメント」フェーズになっていない場合は、Web ブラウザでページのリロードしてみてください。
- フェーズの切り替えは、教師などの活動の管理者が行います。ページのリロードを試してみて、まだ「各自コメント」フェーズになっていなければ、管理者に問い合わせてください。

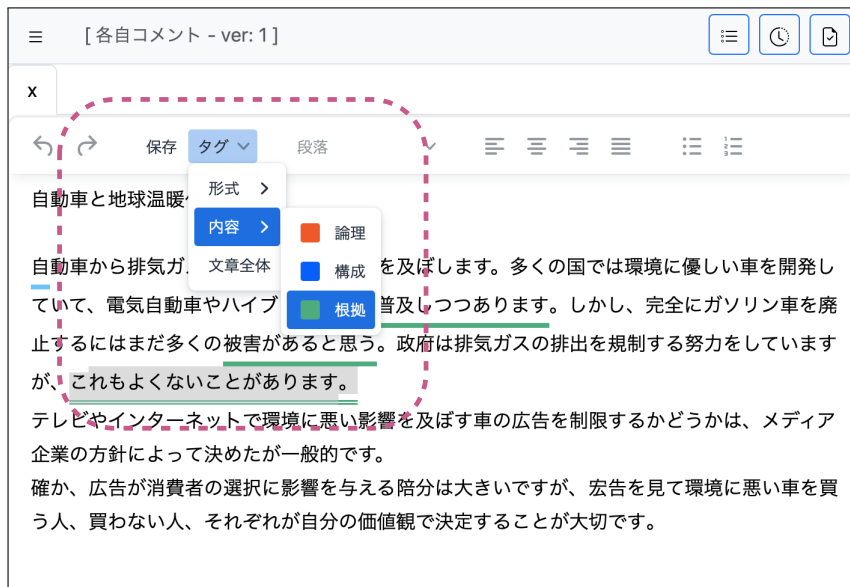
文章の一部にコメントをつける（個別コメント）

個別コメントは、文章を添削する場合のように、気になる部分にコメントするコメント方法です。なお、このあとの節で説明するように、TEachOtherSでは、個別コメントのほかに、文章全体へのコメント（全体コメント）も可能です。

■ タグ付けとコメントの入力

個別コメントするには、文章で気になった範囲に「タグ」をつけて、コメントを書きます。手順は、次のとおりです。

- (1) コメントしたい範囲の文字を選択して、「タグ」メニューをクリックして、タグの種類を選択してください。この例では、タグの種類として、「表記」「語彙」「文法」などがありますが、これは活動内容によって、異なります。



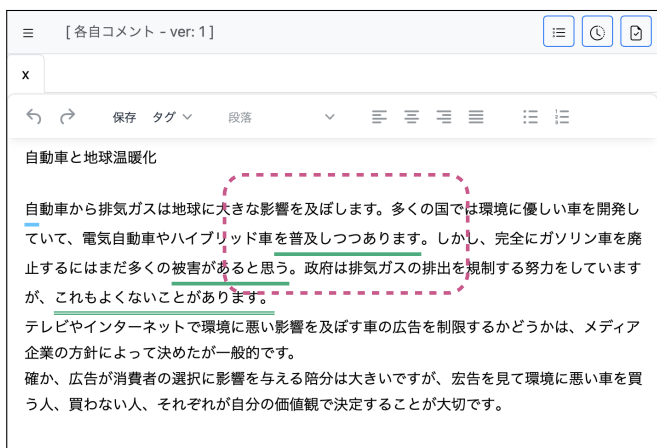
- (2) すると、下図のようなウィンドウが現れるので、コメントを入力してください。「OK」ボタンを押すと、指定した範囲のタグ付けが確定します。



- コメントは、振り返り活動などで他のメンバーと共有します。他のメンバーにもわかりやすい表現を心がけると、このあとの活動がスムーズに進むでしょう。
- タグの種類は、コメントの内容を大まかに分類したり、把握したりするのに利用します。例えば、コメントをグループで共有したときに、『「文法」の誤りに対する指摘をまとめて話し合おう』といった使い方ができます。また、コメントをつけた部分には、種類ごとに別の色で下線が引かれるので、文章に付与されたコメントの傾向を把握するに役立ちます。

■ コメント、タグの種類の修正

コメントやタグの種類を修正するには、コメントをつけたところの下線をダブルクリックして、コメント入力用のウィンドウを出してください。修正が終わったら、「OK」ボタンを押してください。



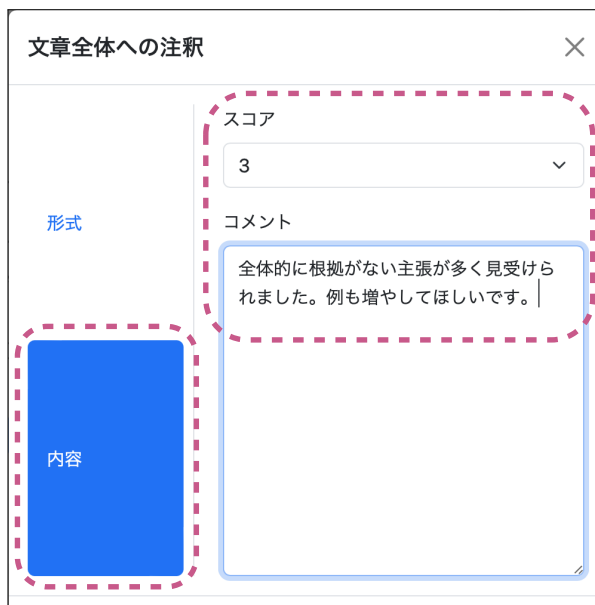
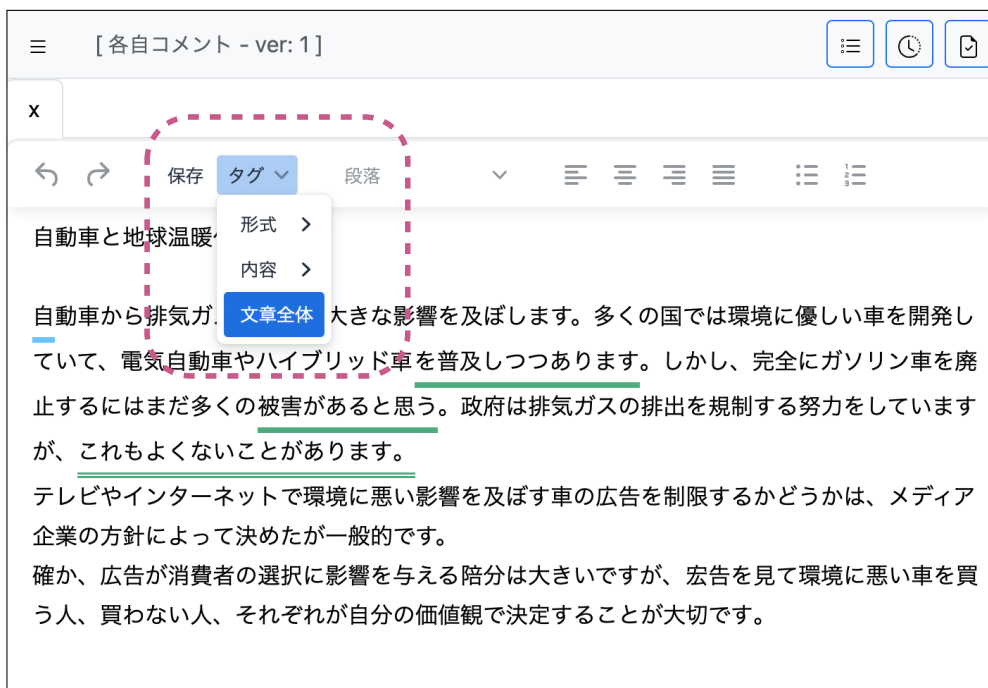
■ タグの削除

修正のときと同じように、コメントをつけたところの下線をダブルクリックしてください。ゴミ箱のアイコンを押せば、タグが削除されます。



□ 文章全体にコメントをつける（全体コメント）

個別コメントは、文章の特定の場所にコメントをつけるものですが、全体コメントは、文章全体に対するをまとめて評価するものです。「タグ」メニューの「文章全体」をクリックして、コメントなどをつけてください。

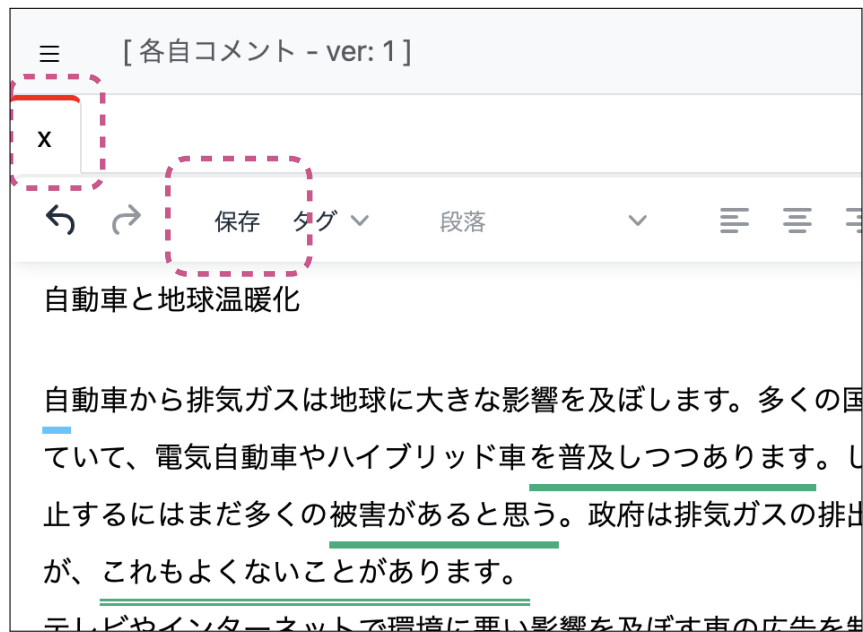


例えば、上の例では、「内容」を対象として、文章全体を評価しています。コメントの入力の他に、必要に応じて、「スコア」欄で1～5の評価値を選択することも可能です。

また、評価の対象については、タグの種類と同様、先生が活動前に複数設定している場合があります。上の例でも、「内容」の他に「形式」（青色の「内容」ボタンの上）についての評価項目があることがわかります。その一方で、全体評価を行わないこともあるので、詳細は先生に確認してください。

□ コメントの保存

コメントの入力が終わったら、「保存」ボタンを押してください（下図左）。保存していないときは、右図のようにタブの上が赤くなりますので、必ず確認してください。



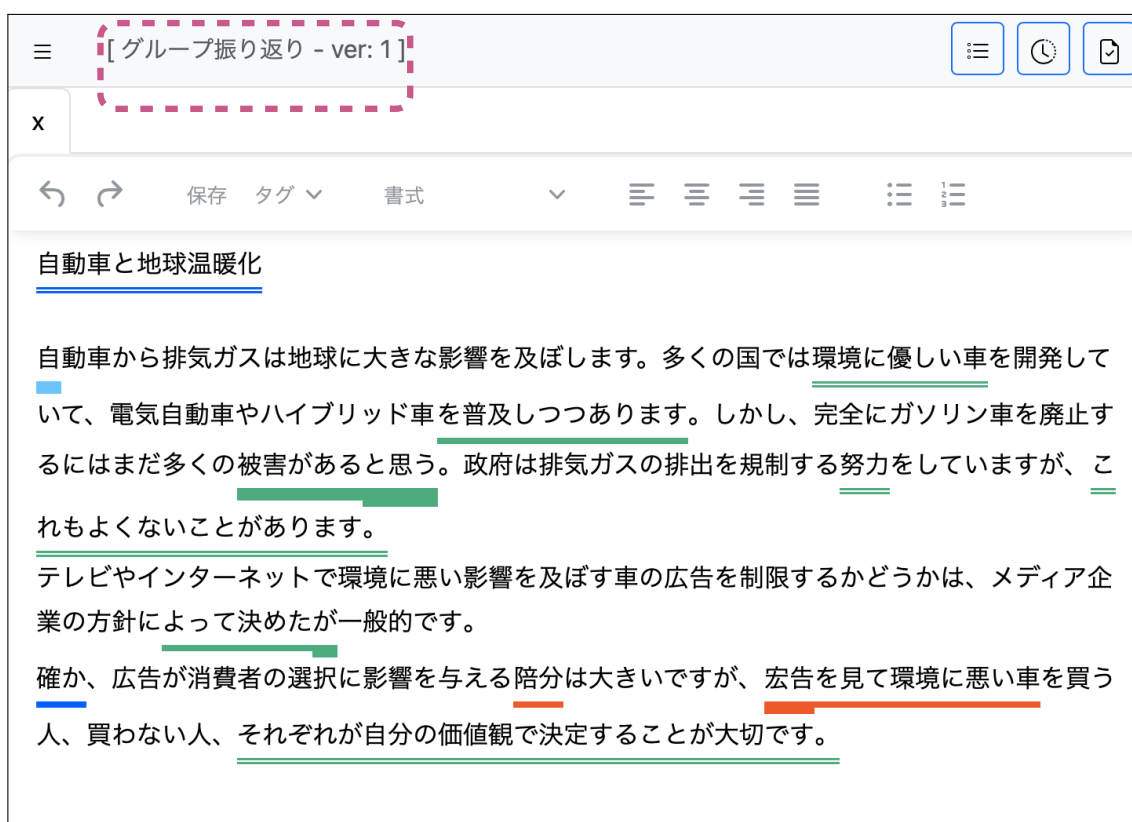
保存は、こまめに行いましょう。何らかの原因で、使用機器や TEachOtherS 自体がフリーズしたりすると、付与したコメントなどの情報が失われてしまいます。

2.3 グループで振り返る

本節では、メンバー各自でコメントづけした結果を使って、グループで振り返りをする方法について説明します。

□ フェーズの確認

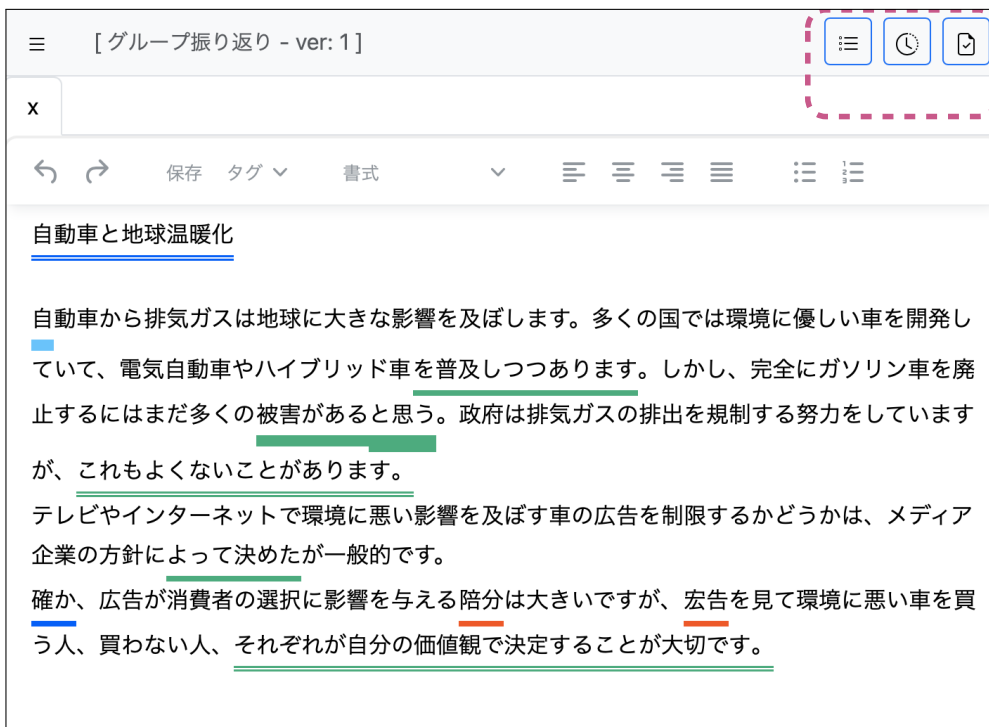
コメントづけのフェーズ（「各自コメント」フェーズ）が終了すると、先生から「グループ振り返り」のフェーズへ切り替えるよう、指示があるはずですが、指示があったら、Webブラウザのリロードボタンを押してください。切り替えがうまくいけば、下図のように、TEachOtherSのフェーズステータスが「グループ振り返り」になります。



- フェーズの切り替えは、教師などの活動の管理者が行います。ページのリロードを試してみても、まだ「グループ振り返り」フェーズになっていなければ、管理者に問い合わせてください。
- 先生側でフェーズの切り替えを行うと、ユーザ側のフェーズステータスが「各自コメント」フェーズでも、コメントの保存はできません。

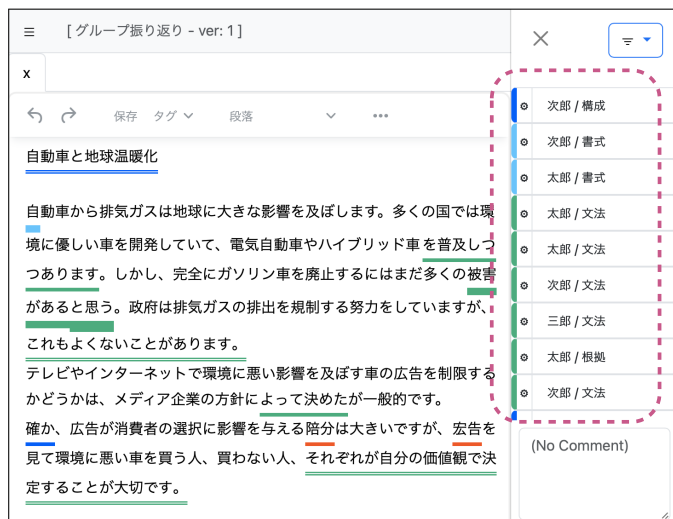
コメントの確認方法

「グループ振り返り」フェーズに入ると、グループメンバーのコメントをすべて見ることができます。ウィンドウ右上のアイコンを押して、他の学生の個別コメント（☰）と全体コメント（🗉）を確認してください。



個別コメント：アイコン（☰）をクリックし、画面右側にタグの一覧を出してください。見たいタグをクリックすると、一覧の下にコメントが表示されます。また、一覧のタグの「⚙️」（歯車のアイコン）をクリックすれば、コメントを含め、タグの詳細情報を確認することもできます。

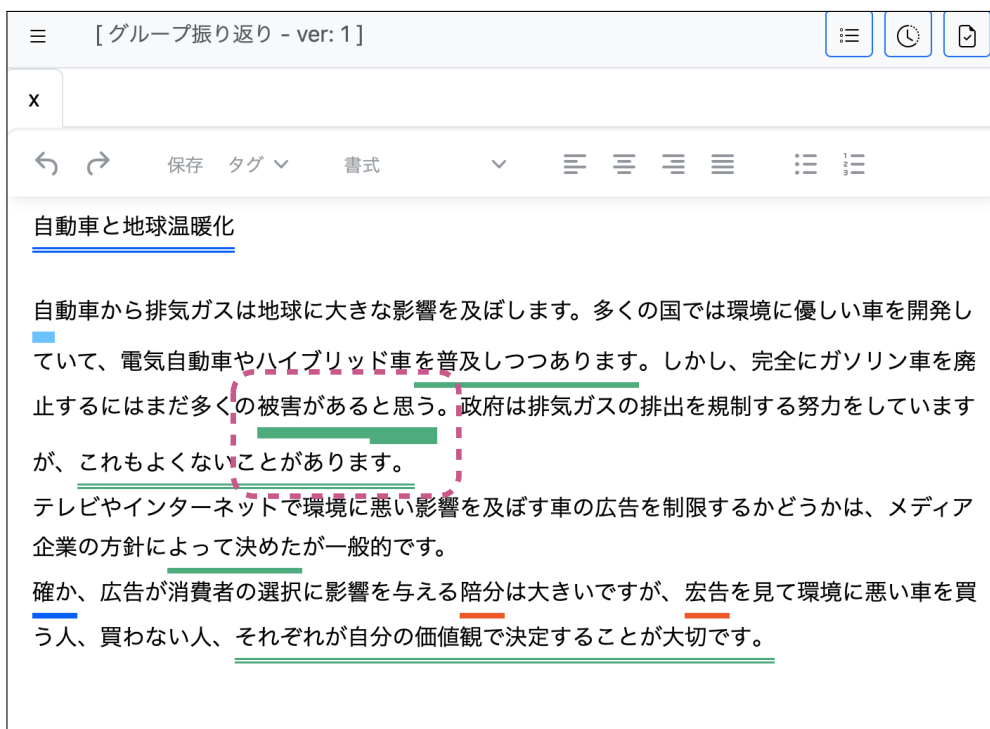
全体コメント：アイコン（🗉）を押してください。すべてのメンバーの評価値とコメントをタグごとに一覧できます。タグの種類は、左側のボタンで選択できます。下図の例では、「内容」（青くなっているボタン）が選択されています。



□ グループ振り返りの方法（みんなが注目したところを見る）

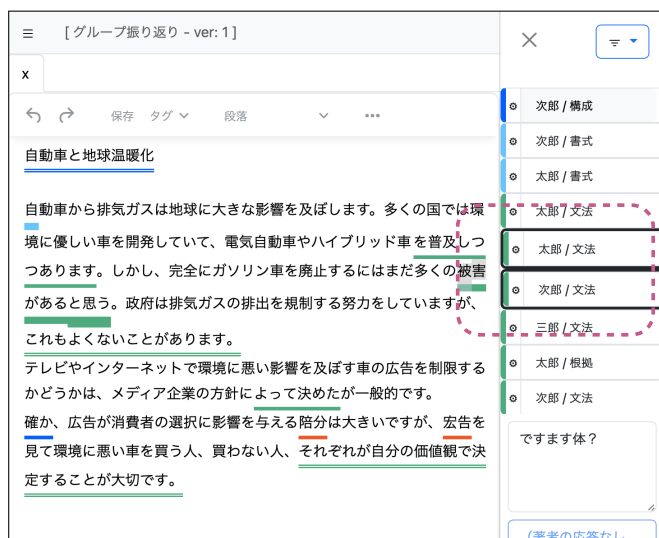
グループで振り返りをする方法の一つとして、多くの人が注目したところを話し合うことを考えてみます。これをTEachOtherSで実現するには、下線がたくさん重複してひかれたところを探すのがよいでしょう。

次の図を見てください。3行目の「被害があると思う」の部分に3重に下線が引かれていることがわかります。このような場所が見つかったら、このあと説明するように、そこをクリックして個々のコメントを確認してみてください。



下線をダブルクリックすると、右側にコメントの一覧が表示され、一覧中の対応するタグが黒枠で囲まれます。下の図の例では、「被害」の「被」部分をクリックしたので、「被」につけられているタグ（この場合二つ）が黒枠で囲われて表示されます。

黒枠で囲われたタグをクリックして、コメントを確認してください。前節で説明したように、ダブルクリックするか、「⚙️」（歯車のアイコン）をクリックすれば、次のように、タグの詳細情報を見ることができます。



□ グループ振り返りの方法（フィルタを使う）

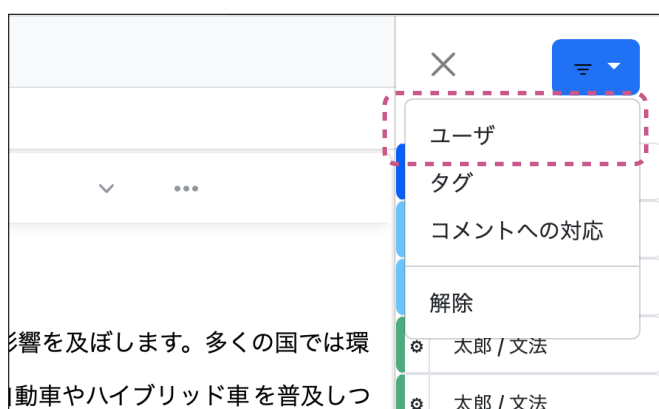
次に、グループで振り返る方法として、タグ一覧のフィルタ機能を活用した方法を紹介합니다。ここでは、タグをつけたユーザ名、タグの種類でタグをフィルタで絞り込んでみましょう。それぞれの方法は、次のとおりです。

■ コメントしたユーザ名を指定する場合

ユーザ名でのタグの絞り込みは、コメントしたメンバーを指定して一人ずつ意見を述べて話し合うときなどに使えます。

(1) タグ一覧右上のメニュー（≡）から「ユーザ」をクリックしてください。

(2) 選択したいユーザ名にチェックを入れて OK を押します。下の例では、「次郎」のタグのみに絞り込まれます。

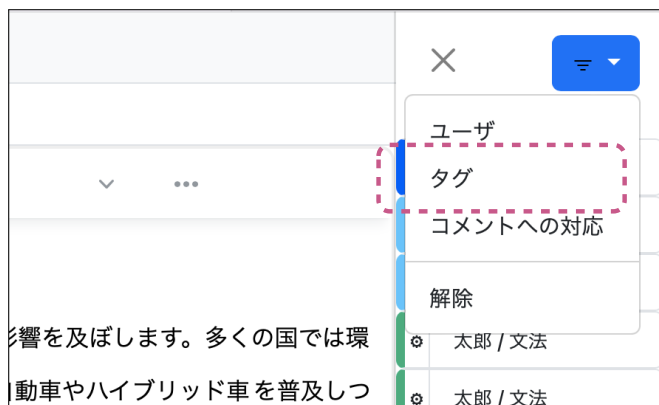


■ タグの種類を指定する場合

タグの種類で絞り込みを行えば、次の例のように、特定のタグに注目して、話し合いをする場合などに有用です。

(1) タグ一覧右上のメニュー（≡）から「タグ」をクリックしてください。

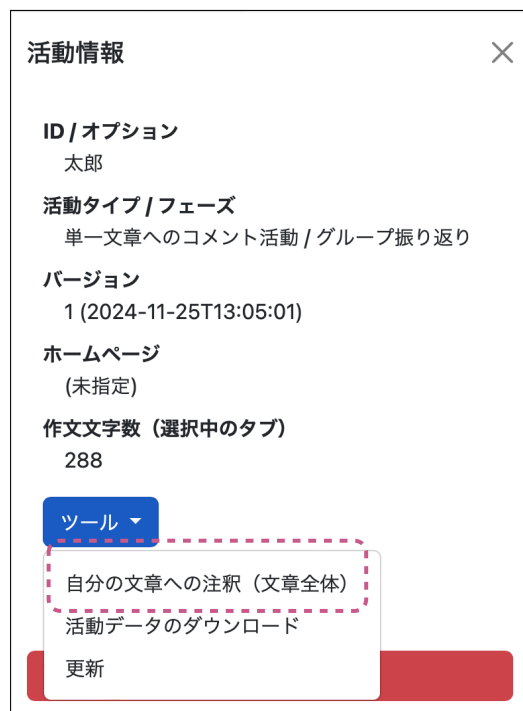
(2) 絞り込みたいタグの種類にチェックを入れて、OK を押します。



□ 活動のまとめとしての自己評価

グループやクラス全体での振り返りが終わった後などに、活動のまとめとして、自己評価を行う場合があります。そのため、TEachOtherS では、どのフェーズでも、自分の文章に対して「全体コメント」をつけられるようになっています。

画面の左上のメニューアイコン（≡）をクリックし、「活動情報」を開いて、「タグ（全体・自己）」を実行してください。操作方法は、他人の文章に「全体コメント」をつける（p.12）のと機能的に違いはありませんが、コメントをつけると、その結果は自動的に保存されます。



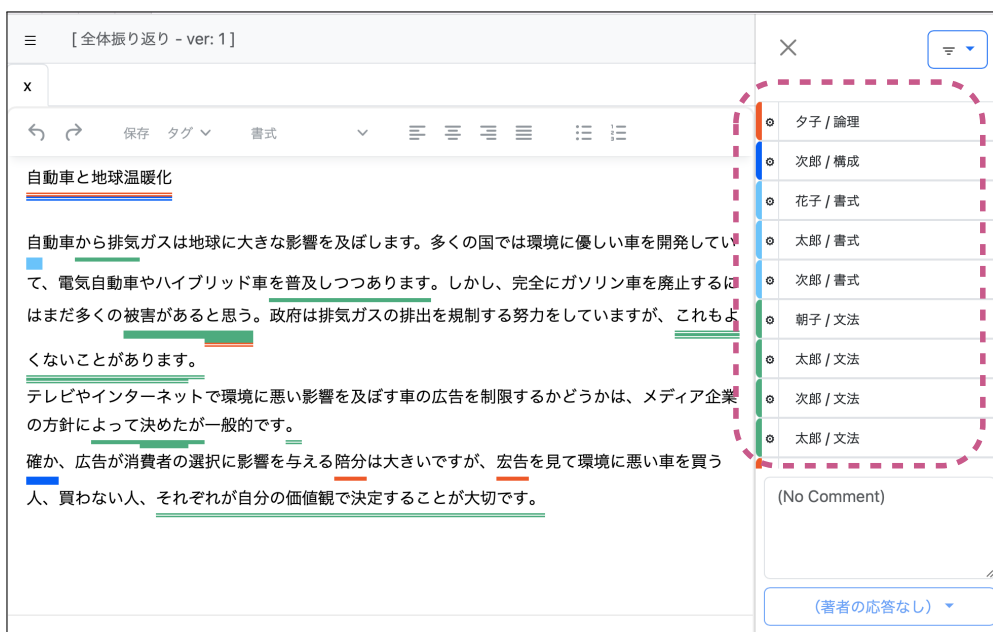
2.4 クラス全体で振り返る

本節では、クラス全体で振り返る方法について説明します。

グループ振り返りが終わったら、先生の指示にしたがい、画面をリロードし、クラス全体での振り返りに入ってください。なお、TEachOtherS の機能としては、基本的に、前節のグループでの振り返りの場合と同じです。

□ 全員分のコメントの確認

クラス全体での振り返りでは、グループメンバーのコメントだけではなく、ほかのグループも含めてクラス全員分のコメントを見ることができます。



□ クラス全体での振り返りの方法

クラス全体での振り返りでは、クラス全体が1グループになるため、特に、個別コメントは大量に表示され、扱いに困る場合もあるかもしれません。その場合は、タグ一覧のフィルタ機能を使って、メンバーやタグを限定してみてください。例えば、自分のグループでまとめた結果をほかのグループに説明するときや、他のグループのコメントを参照するときは、「ユーザ」でのタグの絞り込みが有効です。

一方、共有されるコメントの量が増えることにより、個別グループでの振り返りと比べて、全体的な傾向を把握したり、多様な考えに接しやすくなります。クラス全体でのコメントの共有の利点を振り返りに活かすには、タグの種類（色）や、タグの量（下線の太さ）を視覚的に確認してみてください。例えば、上の図の例のように、文章中の誤りを指摘するような課題では、多くのメンバーが誤りがちな箇所の下線は太くなります。また、タグの色は、自分とは異なる観点や、特徴的な観点からつけられているコメントを探すのに役立つでしょう。

第3章

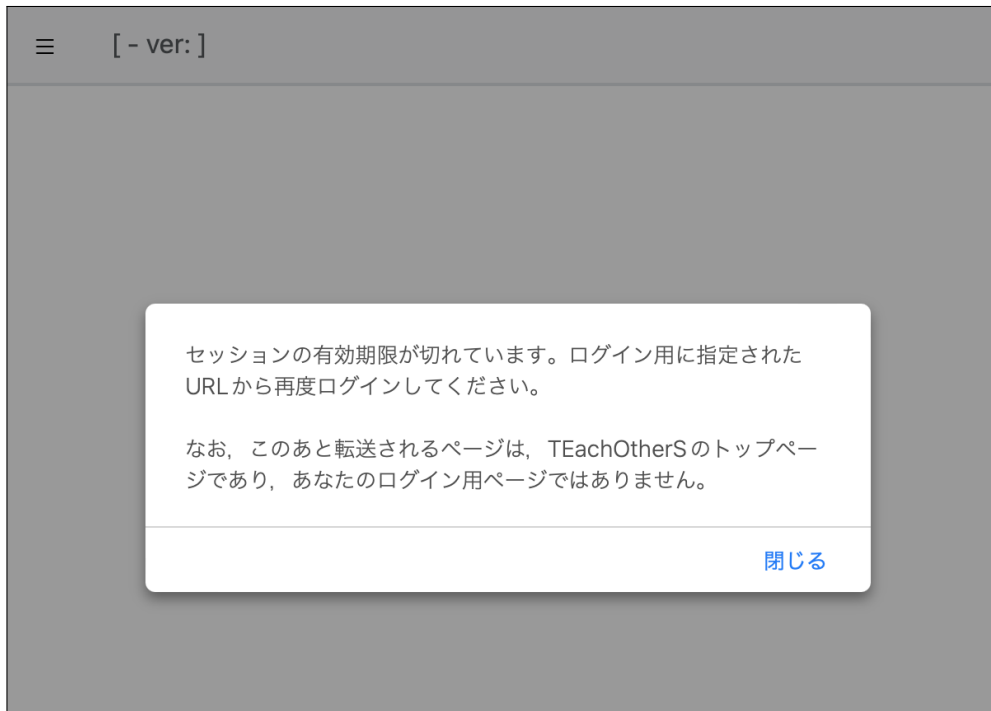
こんなときは

本章では、活動中に困ったことが起こった場合の対応策を紹介します。

3.1 セッション有効期限切れのエラーがでます

ログインすると、セッションが開始されます。セッションの有効期限は、通常 12 時間です。有効期限をすぎると、自動的にセッションが切れますので、文章の入力やタグの追加など、活動データに変更を行った場合は、必ず、12 時間以内に保存してください。

セッションが切れると、次のエラー画面が表示され、TEachOtherS のトップページに転送されます。ログイン用の URL にアクセスして、もう一度ログインしてください。

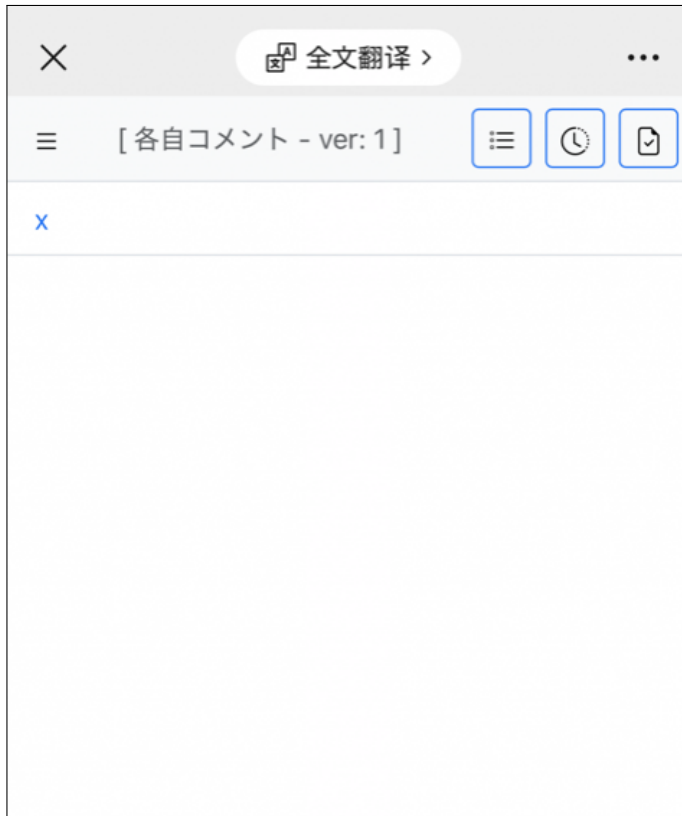


セッション切れのエラーが出ると、保存されていない内容は消えてしまい、基本的に復元はできません。入力内容はこまめに保存してください。

3.2 ログインしても文章が表示されません

ログインしたときに、次の図のように、文章が表示されない場合があるかもしれません。その場合は、まず、使用しているブラウザが TEachOtherS のおすすめのブラウザ (p.2) か、確認してください。

よくあるのが、WeChat や LINE などのチャットアプリでログイン用の URL を直接開いてしまった場合です。もし、文章が表示されないような問題が出た場合は、ログイン用の URL をコピーして、Safari や Chrome などのおすすめブラウザから開くようにしてみてください。



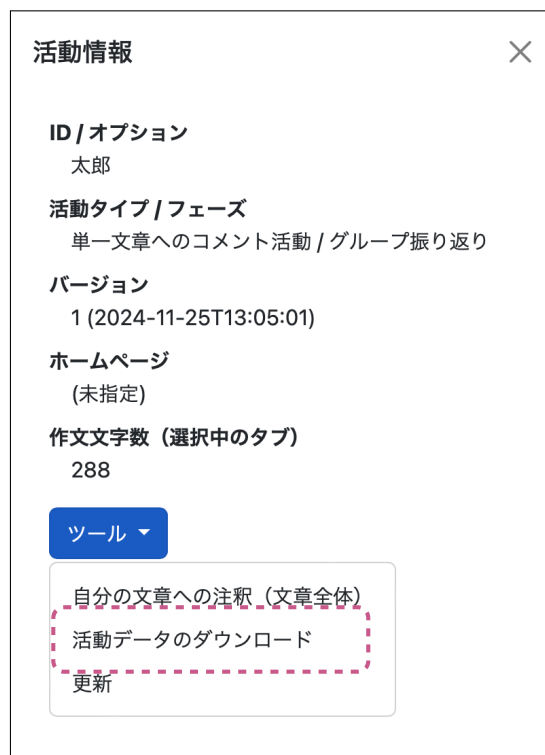
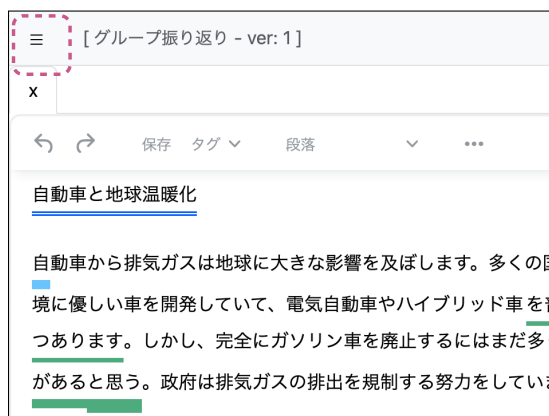
- 必ず TEachOtherS のおすすめ Web ブラウザを使いましょう。
- WeChat や Line などのアプリに内蔵されているブラウザでは、TEachOtherS の動作が不安定になる場合があります。

3.3 活動データをダウンロードするには？

相互コメント活動で作成した文章やそれに対するすべてのコメントがデータとして記録されます。先生の許可があれば、ダウンロードすることが可能です。ダウンロードしたデータは、編集などはできませんが、TEachOtherS 内でなくても、ブラウザとして開けます。活動の記録などとして活用することができます。

□ ダウンロード方法

TEachOtherS の画面左上のメニューボタン (≡) を押すと (左図) と、「活動情報」のウィンドウが現れます (右図)。このウィンドウの一番下にある「活動データのダウンロード」ボタンを押すことにより、活動データをダウンロードすることができます。



- 活動データをダウンロードするには、先生の許可が必要です。
- 活動データには、個人情報が含まれている可能性があります。他人に活動データを渡すときは、事前に先生に許可を取ってください。

□ ダウンロードした活動データの使い方

- (1) まず、ダウンロードされた zip ファイルを展開（解凍）してください。
- (2) 展開したフォルダの中にある index ファイルをクリックすると、Web ブラウザが起動し、以下のような画面が現れます。
- (3) 以上で、活動データを使う準備が整いました。コメントなどの閲覧方法は、これまで述べてきた方法をそのまま使えます。したの例では、フィルタ機能を活用しているところです。ただし、追加のコメントづけなど、新規のデータの保存はできません。



3.4 ダウンロードした活動データの表示がおかしい

ダウンロードしたデータを開いた際に、以下の図のようなフォーマットの崩れが起きた場合、ファイルが解凍されていない可能性があります。必ず解凍した後に、index ファイルを開いてください。

- x
- 太郎
- 次郎
- 三郎
- 花子
- 朝子
- 夕子

自動車と地球温暖化

自動車から排気ガスは地球に大きな影響を及ぼします。多くの国では環境に優しい車を開発していて、電気自動車やハイブリッド車を普及しつつあります。しかし、完全にガソリン車を廃止するにはまだ多くの被害があると思う。政府は排気ガスの排出を規制する努力をしていますが、これもよくないことがあります。

テレビやインターネットで環境に悪い影響を及ぼす車の広告を制限するかどうかは、メディア企業の方針によって決めたが一般的です。

確か、広告が消費者の選択に影響を与える陪分は大きいですが、宏告を見て環境に悪い車を買う人、買わない人、それぞれが自分の価値観で決定することが大切です。

- [個別](#)
- [全体](#)

